

夏期講習の目的

①重要単元の定着

学校の長期休暇を利用し、普段より授業時間を増やして指導します。学校の授業が進まない時期だからこそ、余裕をもって、これまでの復習や今後の予習が可能です。特に、7月までに習った各学年の重要単元の定着に力を注ぎます。定期的な復習と問題演習が内容定着への近道です。

②長期休暇中の学習習慣（フォーム）の確立

学校の長期休暇中に学習習慣が途切れてしまっただけでは、今までの頑張りが水泡に帰してしまいます。講習の授業を日常のペースメーカーとして、常に安定した学習習慣（フォーム）の確立を目指します。また、中学生・高校生の皆さんを中心に、授業のない日や授業外の時間も自習室を開放し、お子様の学習効果が上がる環境をご提供させていただきます。

③自己ベスト更新に向けてのモチベーションUP

中学生の皆さんには、夏休み明けのテストでの「自己ベスト更新」を目指して、個々に目標をもって課題に取り組んでもらいます。小学生の皆さんには、毎回の授業で実施する20分間の特訓タイムで、国語や外国語、理科や社会のいろんなことを学んでいただき、興味の幅、視野を広げていきます。授業でのやりとりや、授業前後での対話を大切に、モチベーションUPを図ります。



小学部 指導カリキュラム

◆夏期講習を利用して、規則正しい生活リズムを◆

学年	算数	国語
小1生	7月までの復習・20までのかず	文章読解練習・ひらがな・カタカナ練習 漢字の予習・復習
小2生	7月までの復習・たし算とひき算のひっ算(2)	文章読解練習・漢字の復習 漢字の予習・復習

【前期】

学年	算数	国語
小3生	7月までの復習	文章読解練習(物語・説明文) 漢字の復習
小4生		
小5生		
小6生		

【後期】

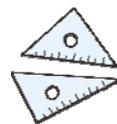
学年	算数	国語
小3生	あまりのあるわり算	文章読解練習(物語・説明文) 漢字の予習・復習
小4生	計算の順序	
小5生	倍数・約数	
小6生	比とその利用	

☆ここがポイント！☆

算 数は、1学期に学習した内容の復習と、2学期以降の予習を行います。闇雲に勉強していてもなかなか定着を図りにくい単元が各学年共に増えてきます。夏期講習では通常授業よりもさらにポイントを絞り、より良い学習効果を目指します。

低学年は学習動作の再確認を徹底して行い、中学年は基本を身に付け、応用問題・次学年以降につなげていきます。高学年は数学につながる単元が多いので、先々のことを視野に入れ、答えを導く過程も重要視し思考力を養っていきます。

各学年とも学習内容が中盤に差しかかり難易度が上がってきます。夏期講習を利用し、効率よく学習していきましょう。



国 語は、各学年とも教科書外の文章を扱います。様々な文章を通じて生徒の皆さんに「好奇心」を持っていただけるように、授業ではただ問題を解くだけではなく、深いところまで追求していきます。例えば、文章の音読をみんなですることによって読み方の勘違いがないかを確認します。そして、文章に出てくる言葉の意味を普段の日常生活で身近に感じられる内容とからめて説明していきます。記述問題では、中学、そして高校入試での「解答の書き方・探し方」を意識し、小学生の間にマスターできる解法を指導していきます。思考力を必要とする問題を繰り返すことにより、理解の定着を図ります。



◆中1・2生はこれまでの整理と予習を！中3生は受験に向けてエンジン全開◆

学年	英語	数学	国語	理科	社会
中1生	PROGRAM1～5	文字の式 方程式	小説文特訓 漢字・文法特訓	化学分野	【地理・歴史】 総復習・演習
中2生	PROGRAM1～4	1次関数	小説文特訓 漢字・文法特訓	生物分野	【地理・歴史】 総復習・演習

※指導カリキュラムは、学校の進捗状況により変わります。

☆ここがポイント☆

【中1生】

中学1年生1学期の学習内容はそれほど難しいものではありません。しかし、全てが今後の学習の基礎になる重要単元です。ここでの理解不足が原因で苦手科目を持ってしまう人が毎年多くなっています。また2学期以降、学習内容はだんだん複雑になり、正しい学習習慣を身につけておかなければ、やはり理解不足に陥ってしまいます。だからこそ、1学期が終わるこの時期に、ここまでの学習内容を復習してきちんと身につけておかなければなりません。

中1生の夏期講習では、1学期の学習内容の総復習を行います。また、今後の学習をスムーズに進めていくために2学期以降に学習する内容の予習を取り入れます。目標は『学習習慣の確立』です。

【中2生】

「中だるみ」という言葉がありますが、2年生という学年は3年間の真ん中の学年であり、気の緩みややすい学年です。夏休みから秋にかけては、その2年生の真ん中の時期です。いろいろなことに興味を持ち、つつい学習以外のことに目が行きやすくなる年頃です。しかし、この時期に学習する内容は入試に直結する重要単元が多く、ここでの理解不足は1年半後の入試に大きな影響を与えてしまいます。

中2生の夏期講習では、単にここまでの学習内容の復習とこれからの予習をする場ではなく、3年間で最も危険な時期を乗り越えるための意識、姿勢、習慣を作っていくための重要な場となるのです。「夏を制する者は受験を制す」という言葉をよく聞きますが、2年生の夏休みこそ、実は最も重要な時期。早目からの受験準備をこの夏期講習から始めていきましょう。

【中3生】

中3生の夏期講習では、今回『学習の診断』に追加される2年生内容の重要ポイントを中心に徹底復習をします。長時間の学習を通じて、これからの受験勉強に耐えうる基本姿勢を作り上げていきます。この時期で基本姿勢が完成すれば、夏休み以降は応用の内容に取り組むことができるようになり、更なる力をつけることができます。一進学館の夏期講習を、単なる復習の場、予習の場ではなく、「志望校合格に向けて学習姿勢、習慣を作り上げる場」としてご活用下さい。



☆中3生 できるまで特訓☆ ※授業スケジュールの中に入っています。

学習の診断で目標点を取るためには、各科目の重要ポイントを完璧にする必要があります。完璧にするためには、①内容理解、②基礎知識の定着、③問題演習、④実戦練習が必要です。

①については夏期講習授業で復習していきますが、②③に力を入れず、思うような効果を得られなかった先輩も数多くいます。なぜ②③に力が入らないのか？定期テストを丸暗記型の学習で乗り切ってきた人にとっては、学習の診断の範囲は広すぎるものであり、暗記量が膨大であり、そこで諦めてしまう人が多いのです。

得点できる状態をつくるには、どこにどれだけの力をいれなければいけないのか？どこまでやればいいのか？それを知っていただくために、事前に周知した課題（前述の②③④についてのもの）で合格点を取れるまで取り組んでいただくのが「できるまで特訓」です。文字通り、授業終了時刻までに終わらなかつたら居残り、できるまで帰れません。この特訓を通じて、受験生としての必要なことを伝え、意識・姿勢を変えていきます。

※「できるまで特訓」は19:00までとし、終わりきらなかつた課題は翌日以降で取り組んでいただきます。また居残りとなった場合は食事休憩のために一時帰宅の時間もお取りする予定です。

2024

夏期講習

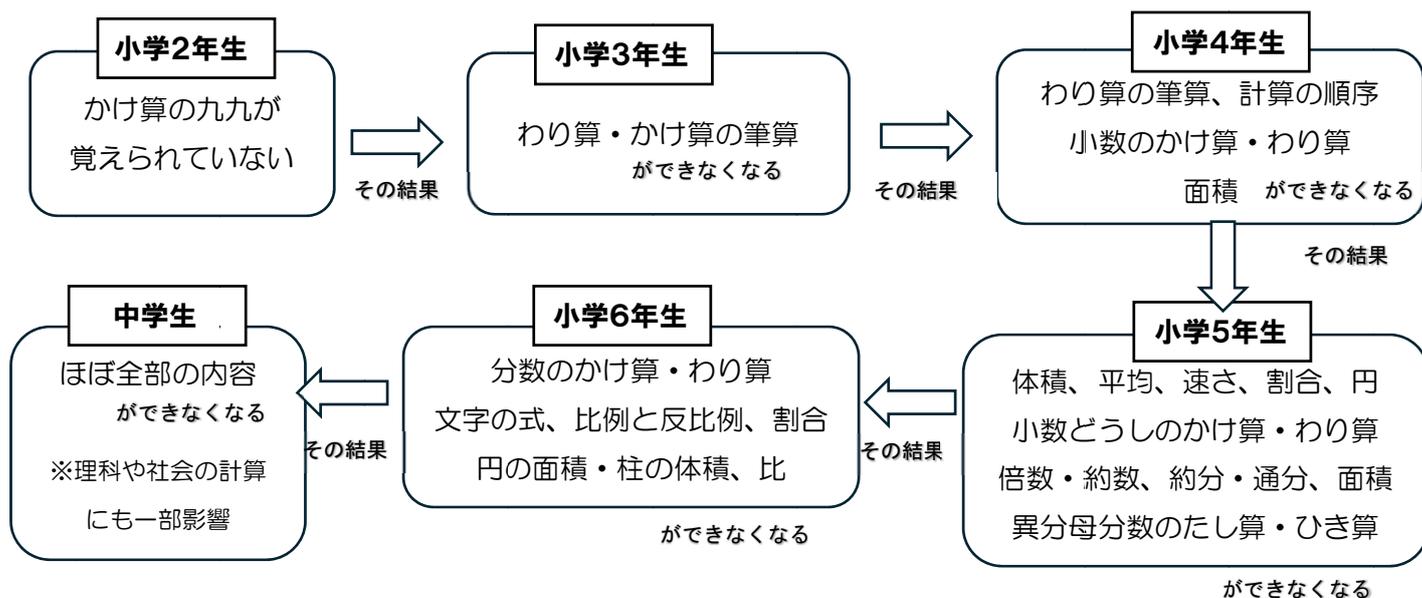
中学1・2年生対象

夏期講習弱点克服特訓

英語・数学が苦手な方へ

2学期はどの学年も重要単元が続くため、中学1・2年生の夏期講習では主に2学期の予習を行います。しかし、英語や数学はここまでの学習内容が理解できていなければ、ここから先の学習内容を理解するのは難しくなります。

たとえば、小学2年生でかけ算の九九を覚えていないと各学年で以下の内容ができなくなります（一部の学習内容のみ記載）。



中学の内容も、これまでの学習内容が次の学習内容の基礎になっている場合が多いため、既に苦手科目、苦手な部分を抱えてしまっている皆さんには時間をかけての特訓が必要です。苦手科目が苦手になってしまっている原因は人それぞれ異なりますが、英語・数学については次のページのポイントでつまづく場合が多いです。

英語の場合

1年生1学期で学習した「文の作り方の基本（be動詞・一般動詞の肯定文、疑問文、否定文）」は今後の英語学習の基本となります。この内容を理解できていなければ、1年生2学期以降の三人称単数、過去形、2年生1学期の未来表現や助動詞などの新しい文法のきまりを理解しても正しい英文を作れず、問題にも対応できません。しかし、この基本の文の作り方を理解できていない人は意外にも多いのです。

	一般動詞基本	三人称単数	過去形	ポイント
肯定文	I <u>play</u> tennis.	He <u>plays</u> tennis.	He <u>played</u> tennis.	動詞の形が変わるだけ
疑問文	<u>Do</u> you play tennis?	<u>Does</u> he play tennis?	<u>Did</u> he play tennis?	現在形の「Do」が三人称単数「Does」過去形「Did」に変わるだけ
否定文	I <u>don't</u> play tennis.	He <u>doesn't</u> play tennis.	He <u>didn't</u> play tennis?	現在形の「don't」が三人称単数「doesn't」過去形「didn't」に変わるだけ

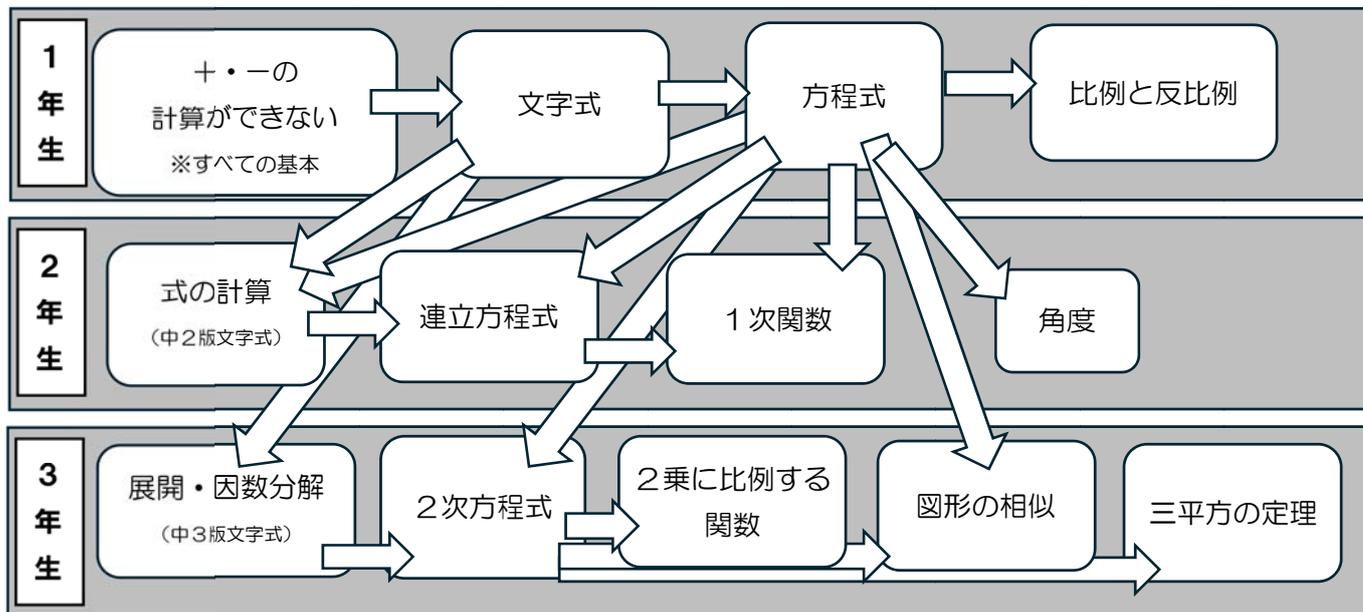
基本の文の作り方は上記以外の内容にも大きく影響します。また、be動詞と一般動詞の区別がついていない生徒も毎年多く、理解不足の原因の1つでもあります。

2年生になり、英語の問題が解けないという方、基本の文は作れますか？ルールは把握できていますか？

数学の場合

1年生1学期で学習した「正の数・負の数の計算」は数学の基本であり、ここが理解できていなければそれ以降の数学の問題はほとんど解けません。また、2年生で数学が苦手な方は、1年生1学期から2学期にかけて学習した文字式、方程式の解き方を覚えていなければ、2年生1学期の式の計算、連立方程式と2学期に学習する1次関数も理解できません。方程式や関数の理解不足は高校数学の低迷にもつながります。ここでしっかり身に付けておきませんか？

※  のスタート部分の内容が理解できていなければ、矢印のゴール部分の内容は理解できません。



一進学館の弱点克服特訓では、事前に特訓希望科目の弱点診断（テスト形式）を実施し、苦手の原因がどこにあるのかを確認し、個別形式で克服特訓授業を実施していきます。

【お申込み方法】 ※新規でお申し込みの皆様

校舎までお電話でご連絡いただき、お子様の学習状況を把握させていただく面談を実施し、そこで回数や授業日を決めていきます。

※面談はお子様にも同席いただきます。